【特集】

奥州固有の文化

厄年連・年祝連をつなぐ

奥州の春まつりを彩る、色鮮やかな衣装に身を包んだ若者たちの演舞――。この日のために数年がかりで準備をし、練習を積み重ねます。厄年連・年祝連の文化は全国でも珍しく、奥州固有の文化として地域に活気を呼び込み、長年引き継がれてきました。しかし今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、日高火防祭、江刺甚句まつり、前沢春まつりは全て中止または延期に。水沢、江刺、前沢の令和２年度厄年連・年祝連の皆さんの、今の思いをお伝えします。

◀厄年連・年祝連紹介ウェブサイト（市観光ウェブサイト内）

（写真は昨年度の厄年連・年祝連）

奥州市には、厄年に当たる数え年で25歳と42歳の年に同級生が集まり、厄年連・年祝連という団体を立ち上げ活動する文化があります。地元を離れ疎遠だった同級生も集まり一緒に活動することで、新たな絆が生まれます。また、地元住民と一体となって祭りを作り上げることで、地域社会の一員として成長する機会にもなっています。

このような厄年連・年祝連の文化はどのようにして育まれてきたのでしょうか。

水沢地域の厄年連

毎年4月に行われる日高火防祭に協賛出演する水沢地域の25歳、42歳厄年連。現在は創作演舞が披露されていますが、以前は忠臣蔵や掃部長者物語などの芝居を題材にしたり、全国の有名な踊りを取り入れたりしていたそうです。さらにさかのぼり、昭和40年代までは、水沢周辺の人たちが踊りなどを披露し、これの審査場が設けられたり、ご祝儀をもらったりしており、これが厄年連の原点ともいわれています。

江刺地域の年祝連

江刺甚句まつりの由来は、秋葉神社例祭といわれています。明治までの大火に対する火災防止祈願からこれを火防祭として取り上げるようになり、42歳、25歳の人たちが主体となって継承してきました。5月3日、4日に行われる江刺甚句まつりとなったのは昭和49年。現在は、42歳、25歳年祝連を祭りの中枢とし、その前後の年代連も祭りに関わることで、伝承体制を築いています。

前沢地域の厄年連

前沢春まつりは、前沢地区の祭りとして開催されていた熊野神社の春まつりを、昭和53年に前沢全体の祭りにしたのが始まりです。このときから25歳厄年連はみこしを担ぎ、42歳厄年連は踊りを披露しています。現在のような創作演舞となったのは、25歳が平成後半、42歳が昭和の終わりごろで、4月の前沢春まつりを盛り上げています。

各団体に今の思いをお聞きしました。

会長　千葉　俊哉　さん

令和２年度
奥州水沢 42 歳厄年連

煌羊会（こうようかい）

会員　252 人
演目　煌羊会音頭

COYOKAi 2020　煌羊会

一心一煌（いっしんいっこう）　～心を一つに　新しい時代の煌（かがや）きとなれ～

日高火防祭の中止が決まり、率直な気持ちとしては「非常に残念」でした。とはいえ、当時の新型コロナの状況では受け入れていた部分もあると思います。

楽しみにしていただいていた皆さま、そして支援や協力をいただいた皆さまに対して、大変心苦しく感じていますが、多くの温かい励ましのお言葉を頂戴しており、あらためて感謝いたします

このような大変な状況の中、水沢のために何ができるのか前向きに考えていこうと、会員の仲間と話しています。

現在は、感染対策を徹底した上で、演舞依頼をいただいたところへは積極的に参加させていただいています。

いつ再開できるかはわかりませんが、この伝統を途絶えさせないよう、今できることを考え、精一杯活動を続けたいと思います。今後出演予定の行事がありますので、その際は私たちの精一杯の演舞を楽しんでいただければ幸いです。

会長　加藤 俊弥 さん

令和２年度
奥州水沢 25 歳厄年連

琉子幻（りゅうしげん）

会員　150 人
演目　一新紀元（いっしんきげん）
～変わる時代変わらぬ祭り～

琉子幻 RYU-SHI-GEN

正直、祭りの中止を受け入れること、私たちがこれからどのように活動して行けば良いのか、会として決断するのに時間を要しました。話し合いを重ねる中で、地域の皆さまへ恩返しすることが私たち厄年連の本来の主旨であると再認識しました。

先日、舞踊奥州大会実行委員会主催で行われたイベントに参加させていただきました。ようやく私たちの演舞を皆さまへお披露目することができたこと、とても感謝しています。

現在は、演舞の依頼があったところへの披露や、協賛いただいた企業へのお礼とごあいさつ、後輩への引き継ぎなどを行っています。地域の皆さまから、残念な気持ちや期待の気持ちを、日々の生活、仕事中などさまざまな場面で声を掛けていただきました。その言葉が励みになり、現在の活動につながっています。

次の年代の皆さんにも、日高火防祭に向けての活動ではなく、一年を通して地域の皆さまへ感謝と恩返しをする場だということを考えて活動してほしいと思います。

祭りは中止となってしまいましたが、琉子幻としての活動はまだ終わっていません。少しでも多くの皆さまに私たちの活動を見ていただき、少しでも心が休まるよう会員一同前を向いて活動してまいりますので、ご声援よろしくお願いいたします！

琉子幻の皆さん

煌羊会の皆さん

■出演予定（煌羊会・琉子幻）
江刺甚句まつり（9月21日、詳しくは23ページをご覧ください）